
追憶の欠片

ポム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

追憶の欠片

【Nコード】

N4465BA

【作者名】

ポム

【あらすじ】

石の牢獄で目覚めた少年には、記憶がなかった。小さな仲間と共に、少年は記憶を取り戻す旅に出る。

プロローグ

誰かが言っていた。

お前は自慢の息子だ、と。

誰かが言っていた。

生まれてきてくれて、ありがとう、と

少年は外界から切り離された石の牢獄で目覚めた。

彼には記憶がなかった。明かりは一切なく、凍てつくような寒さと、押し寄せる恐怖にただ震えていた。

そんな少年に寄り添う一匹の生き物。震える小さな体躯。がさついた毛に覆われた体は、少年と同じように冷め切っていた。犬だろうか。儂げながらも、少年を慰めようとする鳴き声に、少年は恐怖が和らいでいくのを感じた。

彼らに転機が訪れるのは、もう少し先のこと

プロローグ（後書き）

初めまして。ポムです。

えー、まず最初に、この小説に目をつけてくれてありがとうございます。

処女作だったりするので、未熟な点がてんこ盛りの小説になるとは
思いますが、頑張りますので見守ってくれと嬉しかったです。

更新は不定期ですが、ひと月の目安は早めに定めます。

あとは……ひとまず大丈夫か。

未熟者の私ですが、どうぞ暫しのお付き合いを。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4465ba/>

追憶の欠片

2012年1月11日23時49分発行